

企業ニュース ZOZO

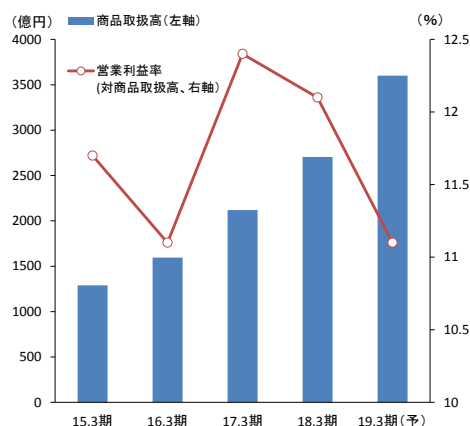
(東証1部: 3092) <https://corp.zozo.com/>

作成者: 荒木晶子

2018年10月、スタートトゥデイから現社名に変更

1998年設立。衣料品通販サイト「ZOZOTOWN」を運営している。2018年1月、プライベートブランド(PB)「ZOZO」の販売を開始した。従来は、採寸用ボディースーツ(ZOZOSUIT)で計測したデータを基に商品を製造・販売する仕組みであったが、収集したデータを活用し、一部の商品は注文時に身長・体重・年齢などの基本情報を入力するだけで購入が可能となった。これに伴い、ZOZOSUITの配布計画は600~1,000万枚から最大300万枚に修正した。販売計画に対する進捗は遅れているようで、収益貢献には時間がかかりそうだ。一方、主力のZOZOTOWN事業でこ入れを計画しているようで、同事業は成長の再加速が期待される。

◇商品取扱高と営業利益率の推移



(出所) ZOZO資料よりCAM作成

下期のZOZOTOWN事業でこ入れに期待

19.3期・第2四半期累計(4-9月)の連結業績は、売上高が538億円、前年同期比26%増、営業利益が101億円、同27%減。EC(電子商取引)事業の販売額に当たる商品取扱高は1,412億円、同18%増。営業利益は計画を下回った。PBの先行費用や配達運賃の上昇などにより、商品取扱高に対する営業利益率は7.1%、同4.5ポイント悪化した。第2四半期(7-9月)のPBの販売計画は15億円だったが、生産工程の一部不具合で納期の遅延が発生し、発送実績は5億円に留まった。

19.3期の通期会社計画は、売上高が1,470億円、前期比49%増、営業利益が400億円、同22%増。通期計画は据え置いたが、計画に対する営業利益の進捗率は25%であり、達成は容易ではなさそうだ。ZOZOTOWN事業は、販売促進の施策を予定しており、商品取扱高の増加が期待できよう。PBは納期遅延が解消され、ZOZOSUITの配布計画の変更で30億円のコストダウンが見込まれる。今後は取り扱いアイテムの増加や計測データの精度向上などが課題となろう。

[株価動向・投資判断]

株価は通期計画の未達を織り込んで下落しているとみられる。主力事業に関してはEC市場の拡大を背景とした成長余地が大きいと考えられ、株価の再評価に期待したい。

<3092 ZOZO 業績: 日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
17.3	76,393 (40)	26,284 (48)	26,442 (48)	17,035 (42)	54.7	36.00
18.3	98,432 (29)	32,669 (24)	32,740 (24)	20,156 (18)	64.7	29.00
19.3 予	147,000 (49)	40,000 (22)	40,000 (22)	28,000 (39)	91.7	36.00



[主要株価指標]		(売買単位: 100株)
株価(2018/12/14)		2,544 円
年初来高値(高値日)		4,875 円(18/7/18)
同 安値(安値日)		2,133 円(18/11/21)
予想 P E R (19.3 予)		27.7 倍
1株株主資本(PBR算出用)		55.9 円
P B R		45.48 倍
予想配当利回り		1.42 %
(1株当たり配当金年36.00円)		
R O E (18.3)		57.4 %
発行済み株式数		31,164 万株